

ジェネリック医薬品使用促進について

平成 30 年 12 月 12 日

ジェネリック医薬品について

● ジェネリック医薬品とは？

- 効き目や安全性は先発医薬品と同等と厚生労働省から認められたお薬です

なおかつ先発医薬品の有効成分を利用して開発しているため**価格は3割以上、中には5割以上安くなる場合があります。**



- 服用しやすいお薬へ製造工夫が図られています

製剤の小型化

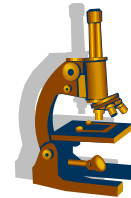
大きくて飲みづらい錠剤を小型化して飲みやすい錠剤に改良

味の改良

苦みの強い錠剤を飲みやすくするため、苦みを抑えた味に改良

剤形の変更

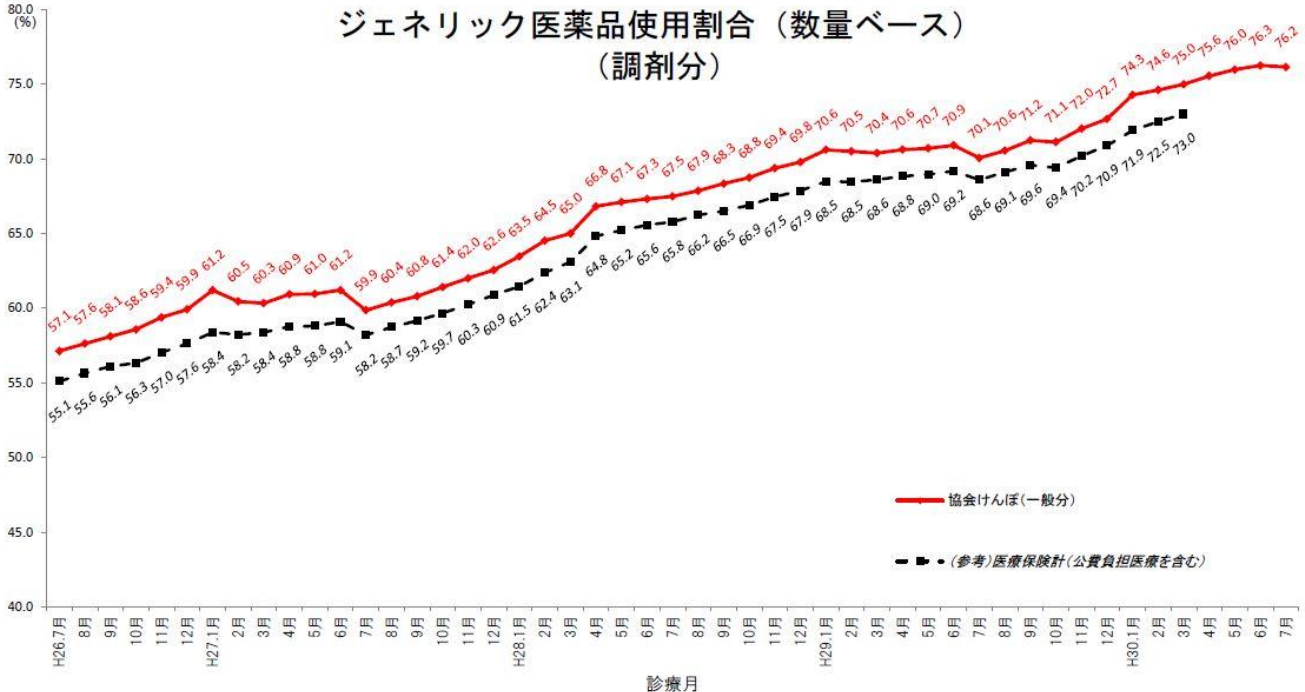
カプセル剤を飲みやすい錠剤に変更



- 様々な疾病や身近な疾病に、ジェネリック医薬品の普及が広がっています

政府全体の動向

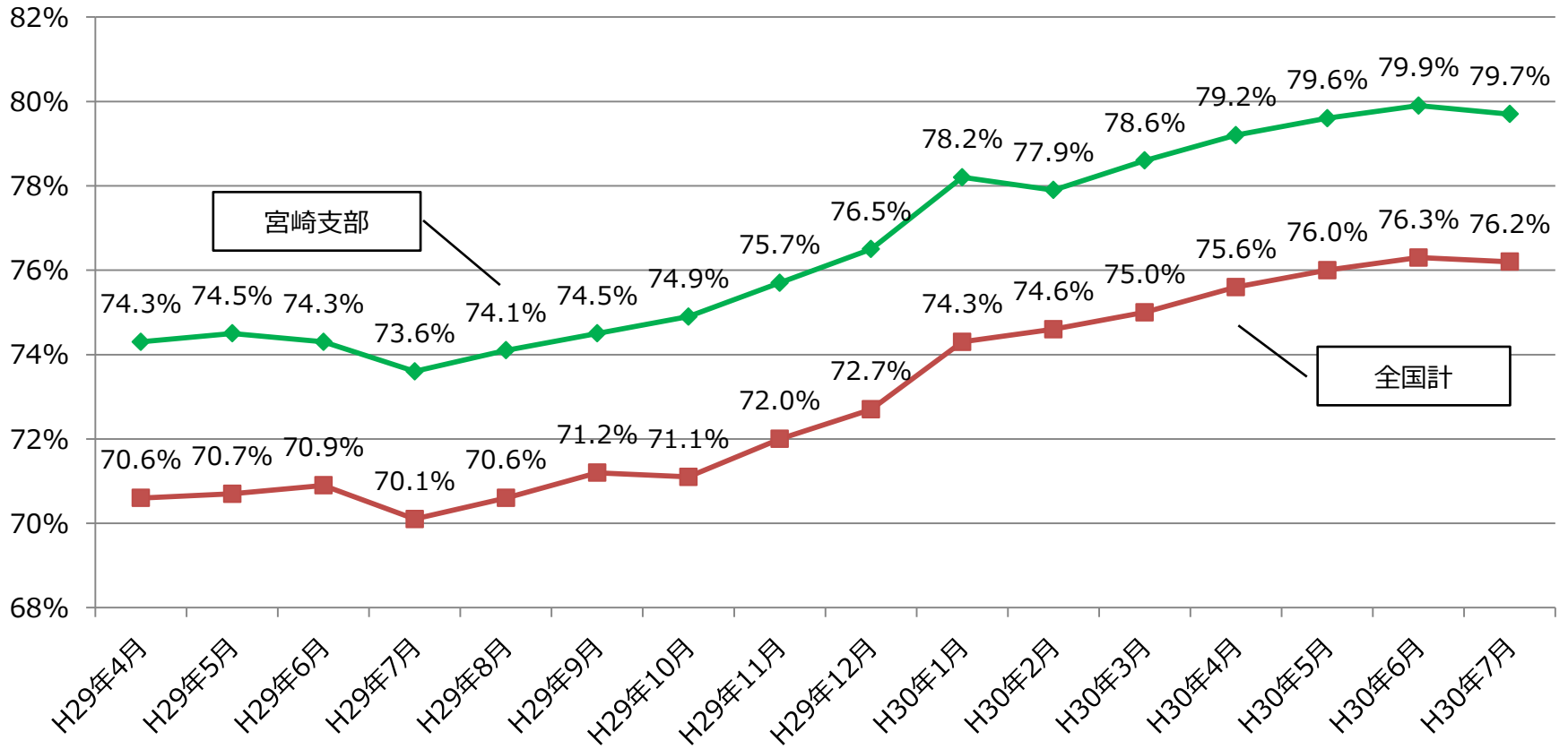
➤ ジェネリック医薬品の使用促進については、平成27年6月の閣議決定（骨太方針2015）で、「2020年度（平成32年度）末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする」こととされましたが、平成29年6月の閣議決定（骨太方針2017）において、この80%目標の達成時期については、「2020年度（平成32年）9月まで」と決定されました。



注1. 協会けんぽ(一般分)の調剤レセプト(電子レセプトに限る)について集計したものを(算定ベース)。
 注2. 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
 注3. [後発医薬品の数量] / ([後発医薬品のある先発医薬品の数量] + [後発医薬品の数量])で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。
 注4. 医療保険計(公費負担医療を含む)は、厚生労働省調べ。
 注5. 後発医薬品の取扱いには、後発医薬品が初めて取られる先発医薬品があると、算出式の分母の対象となる先発医薬品が増えることにより、後発医薬品割合が低くなることもある。

宮崎支部の使用状況

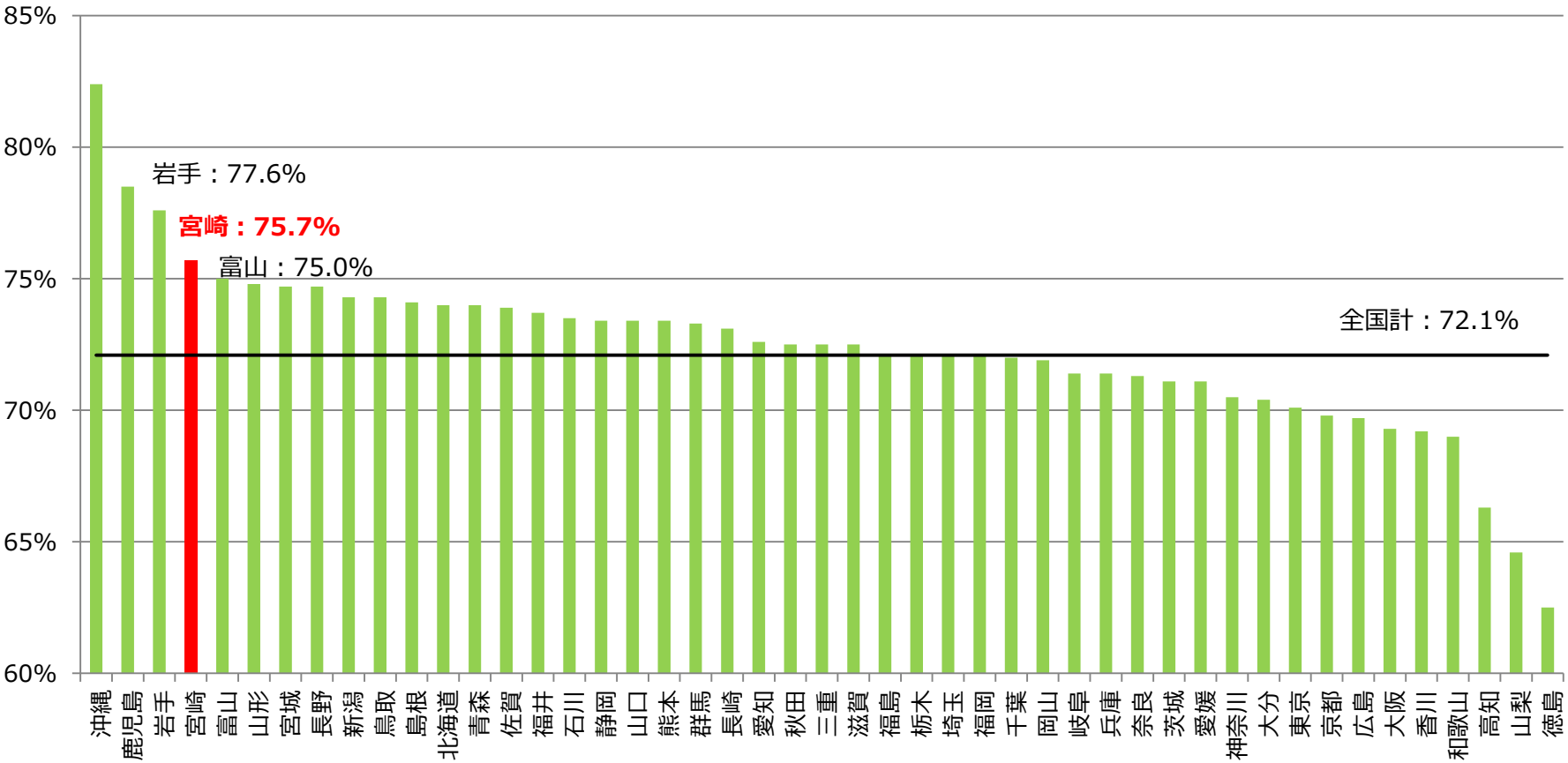
月別ジェネリック医薬品使用割合の推移（全国計と宮崎支部）



※ 協会けんぽ（一般分）の調剤レセプト（電子レセプトに限る）について集計したもの（算定ベース）。
 ※ 使用割合は新指標（〔後発医薬品数量〕／（〔先発医薬品数量〕+〔後発医薬品数量〕））で算出。医薬品の区分は厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。
 ※ 「数量」とは、薬価基準告知上の規格単位ごとに数えた数量。

宮崎支部の使用状況

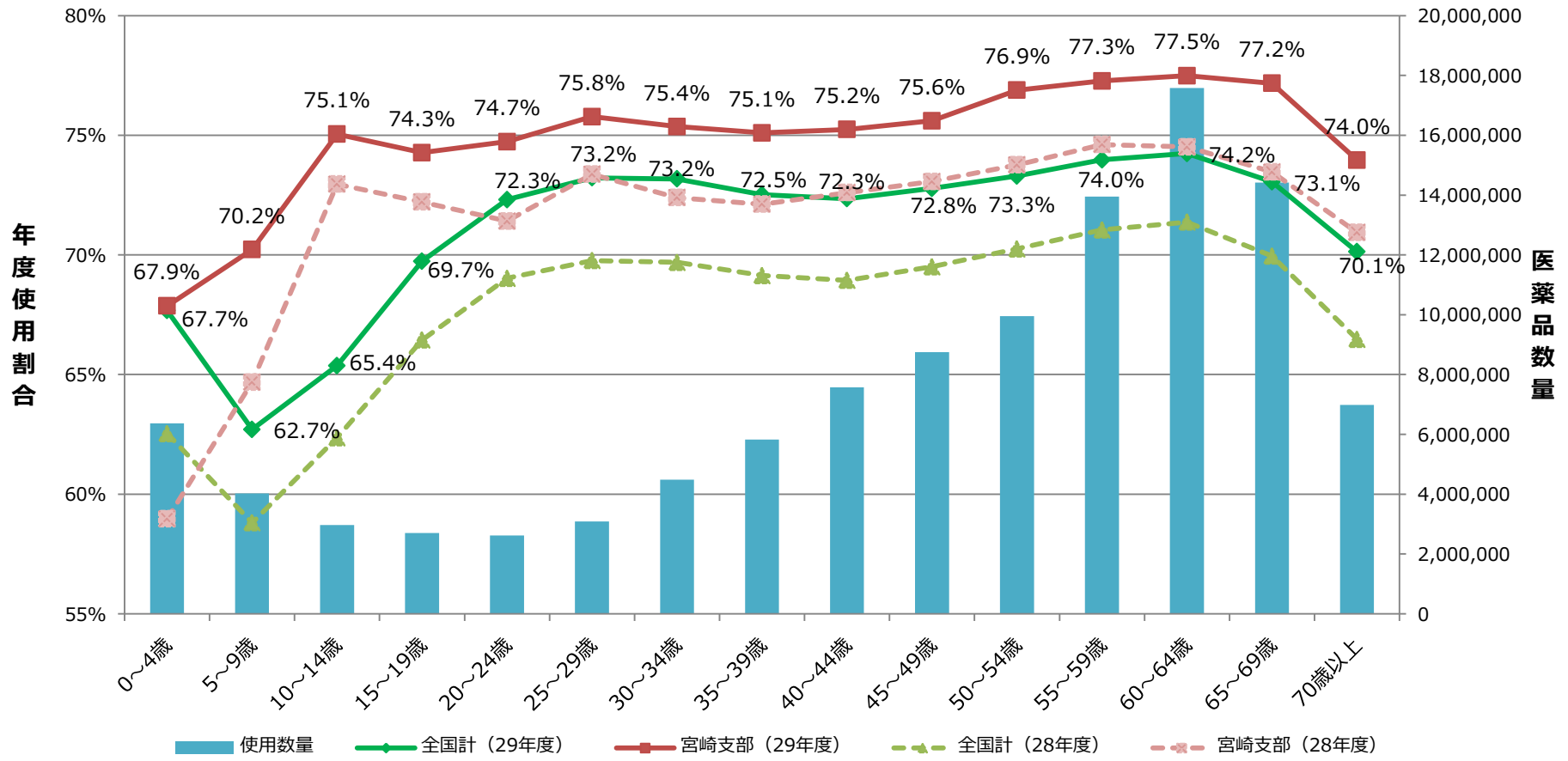
平成29年度 支部別ジェネリック医薬品使用割合



※ 協会けんぽ（一般分）の調剤レセプト（電子レセプトに限る）について集計したものを（算定ベース）。
 ※ 使用割合は新指標（〔後発医薬品数量〕／（〔先発医薬品数量〕+〔後発医薬品数量〕））で算出。医薬品の区分は厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。
 ※ 「数量」とは、薬価基準告知上の規格単位ごとに数えた数量。

宮崎支部の使用状況

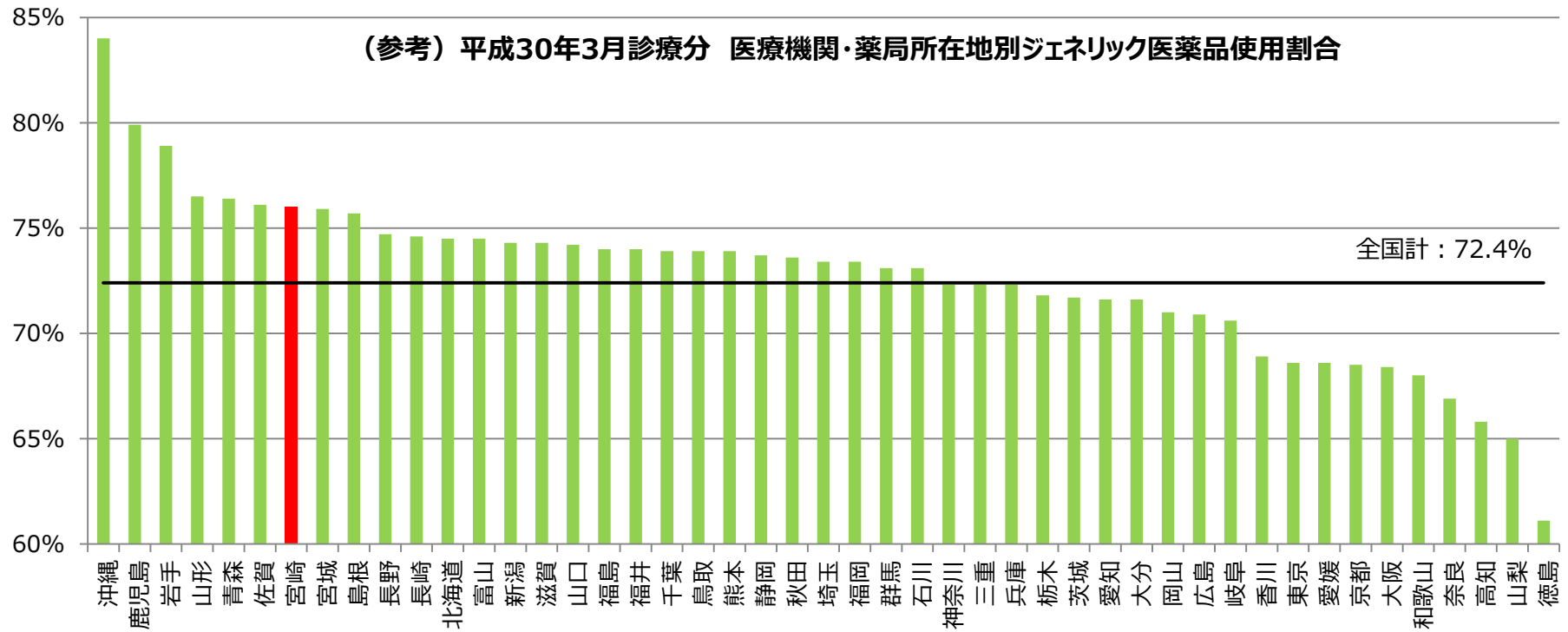
平成29年度 年齢階級別ジェネリック医薬品使用割合



※ 協会けんぽ（一般分）の調剤レセプト（電子レセプトに限る）について集計したものを（算定ベース）。
 ※ 使用割合は新指標（〔後発医薬品数量〕／（〔先発医薬品数量〕+〔後発医薬品数量〕））で算出。医薬品の区分は厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。
 ※ 「数量」とは、薬価基準告知上の規格単位ごとに数えた数量。

ジェネリック医薬品使用割合の測定方法の変更

➤ 協会けんぽでは、ジェネリック医薬品の使用割合について、調剤レセプトデータをもとに集計し、協会けんぽの月報作成、支部業績評価、保険料率のインセンティブにおける評価指標に活用しておりました。平成31年度より、医科、D P C、歯科、調剤のレセプトデータを集計したジェネリック医薬品の使用割合を公表するとともに、評価指標として活用する予定です。



※ 地域別の集計は、医療機関および薬局の所在地に基づく。
 ※ 平成30年3月診療分の医科、DPC、調剤レセプトを対象とする。DPCについてはコーディングデータを集計対象とする。
 ※ 数量は、薬価基準告示上の規格単位毎に数えたもの。ただし、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬、漢方を除く。
 ※ ジェネリック医薬品使用割合は、数量ベース新指標にて算出。後発品数量 ÷ (後発のある先発品数量 + 後発品数量)
 ※ 後発品の有無に関する情報は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」に基づく。

協会けんぽの取り組み

● ジェネリック医薬品軽減額通知サービスの実施（平成21年度～）

【平成30年度実施内容】

➤ 実施回数

2回（平成30年8月実施、平成31年2月実施予定）

➤ 送付件数

（1回目）宮崎支部 34,383件 / 全国計 371万件

（2回目）全国で約320万件の見込み

➤ 通知対象者

20歳以上の加入者で一定額以上の軽減が見込まれる方

※慢性疾患（リウマチ、喘息）、生活習慣病（糖尿病、高血圧症）の治療薬を始めとする長期間（14日以上）継続して服用することが考えられる医薬品を対象。ただし、がん治療薬、H I V治療薬、ジキタリス製剤を除く。

➤ 送付物

通知書、リーフレット、ジェネリック医薬品希望シール

協会けんぽの取り組み

【平成30年度リーフレット】

ジェネリック医薬品は先発医薬品と同等であると国が認めたお薬です

Q ジェネリック医薬品とは？

先に開発された医薬品の有効成分を認められたあとに、同一の有効成分で作ったお薬です。先発医薬品よりお薬費が少なくて済むので、その分お薬料を安く払っていただくことができます。

Q 効き目は同じ？

品質・効き目・安全性の厳しい試験をクリアし、先発医薬品と同等であると国が認めたお薬です。

しかも、今のお薬よりも飲みやすい？

先発医薬品と同等の効果があるだけでなく、小粒化・剤形の変更、味の改良などがなされているものもあります。

安くなっても薬の効果は同じ！
だから今、ジェネリック医薬品の利用率は上がっているんです！

ジェネリック医薬品 3 つのいいところ、詳しくご説明します！

ジェネリック医薬品に関する「お知らせ」の見方

見本

ジェネリック医薬品を希望したいお薬を、お薬の届く薬局までお知らせすることができます。

1 処方年月	2 お薬代の軽減可能額
1 平成28年 1月	1,000円
2 平成28年 2月	1,000円
3 平成28年 3月	1,000円
4 平成28年 4月	1,000円
5 平成28年 5月	1,000円

1 処方年月
2 お薬代の軽減可能額
3 お薬名
4 お薬代
5 注意事項

この「お知らせ」に関するお問い合わせ
TEL: 0120-239-001
FAX: 0120-239-002
受付時間: 8:30~17:15(土・日・祭日休)

ジェネリック医薬品への切り替えで、お薬代の負担を軽くしませんか？

協会けんぽ加入者の方、ジェネリック医薬品をおすすめする3つのいいところ

- 1 経済的
- 2 未来に貢献
- 3 切り替えかんたん

ジェネリック医薬品ってなに？詳しくは中冊へ>>>

通知書、リーフレットと併せて、ジェネリック医薬品希望シールを同封しております。

ジェネリック医薬品のいいところ 1

お薬代が安くなって、家計に安心・経済的です

ジェネリック医薬品に変わると、最大で **6割** もお薬代の負担が軽くなるものがあります。

あなたの軽減額は同封の通知書で確認できます！

毎日飲むものだから、とっても助かった！

たとえば 長期服用のお薬ほど大きな節約に！

1ヶ月で済むお薬 1,716円 → 12ヶ月で済むお薬 21,312円
軽減可能額 **21,312円** 軽減可能 **↓** 上下水道料約4か月分の節約！

ジェネリック医薬品のいいところ 2

未来のあなたの健康を支えることにつながります

ジェネリック医薬品の使用は国の医療費を抑えることに繋がります。

もし、加入者の皆さまが全員ジェネリック医薬品に切り替えれば、日本の医療費は年々増加！医療費の抑制が急務！

日本の医療費なんて、関係ないと思っていました。

ジェネリック医薬品のいいところ 3

切り替えはとってもかんたんです

医師または薬剤師にご相談する

同封の通知書を見る
ジェネリック医薬品希望シールを貼ったお薬の処方箋を提出する

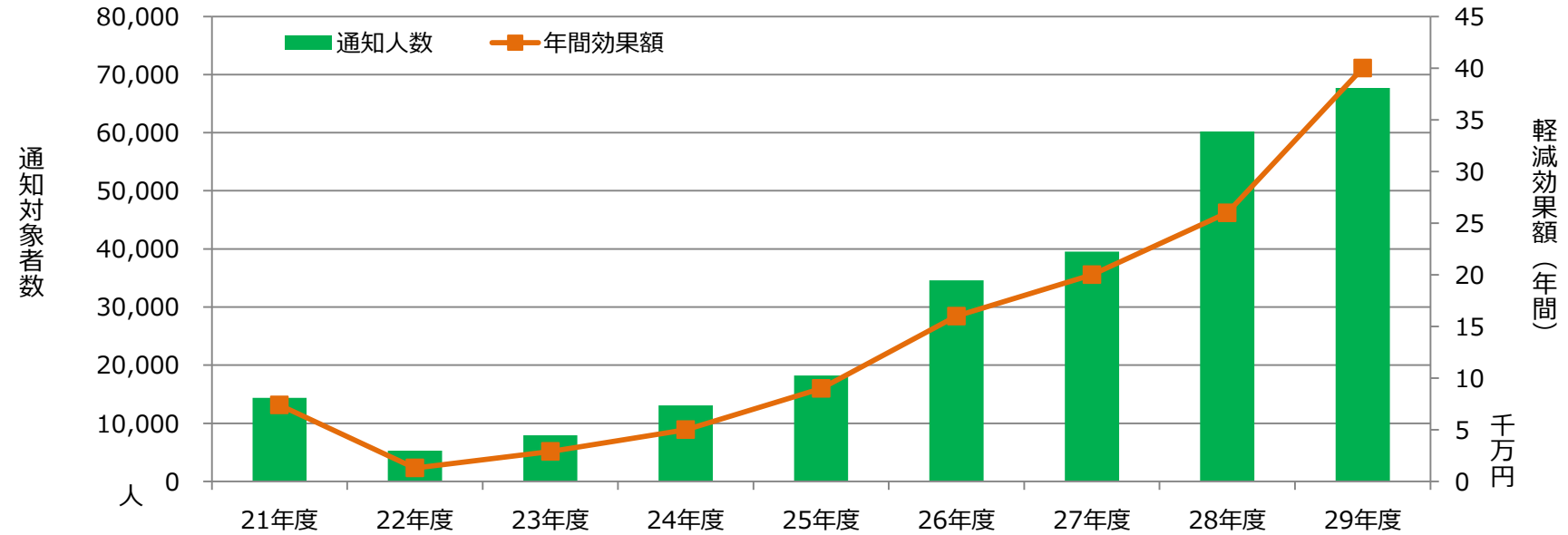
意外と簡単に切り替えられました！

もし合わなかったら、次回の処方から先発医薬品に戻せます。

協会けんぽの取り組み

【平成21年度からの実施結果】

宮崎支部の通知対象者数と軽減効果額



	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
通知件数	14,404件	5,293件	7,953件	13,058件	18,227件	34,620件	39,540件	60,212件	67,712件
切替人数	4,171人	1,143人	2,025人	3,433人	4,999人	10,039人	12,075人	16,571人	22,094人
切替率	29.0%	21.6%	25.5%	26.3%	27.4%	29.0%	30.5%	27.5%	32.6%
年間軽減効果額 (推計) ※	約7,400万円	約1,300万円	約2,900万円	約5,000万円	約9,000万円	約1億6,000万円	約2億円	約2.6億円	約4億円

※ 1カ月の軽減効果額を年間に換算 (×12カ月) した単純推計

宮崎支部の取り組み

- ジェネリック医薬品使用促進セミナーの開催（平成28年度～）

➤ 平成28年度より、協会けんぽ宮崎支部主催のジェネリック医薬品セミナーを関係機関と連携のうえ開催し、加入者、薬剤師等に、協会けんぽ宮崎支部の使用状況、ジェネリック医薬品使用促進に向けた取り組みを説明するとともに、ジェネリック医薬品に関する講演を実施。来年度もセミナーを開催する予定です。

【セミナー開催状況】

年度	概要	開催地域	参加人数	参加者
平成28年度	健康保険委員研修会と併せたセミナー	宮崎市、都城市、延岡市	115名	健康保険委員（主に社会保険事務担当者）
平成29年度	薬剤師向けセミナー	宮崎市	32名	宮崎市郡薬剤師会所属の薬剤師等
平成30年度	薬剤師向けセミナー	都城市	72名	都城市北諸県郡薬剤師会所属の薬剤師、調剤事務員等

宮崎支部の取り組み

● 医薬品リストの作成・配布（平成29年度～）

- 平成29年度より、ジェネリック医薬品使用促進セミナーを開催した際に、参加いただいた薬剤師等の方に、医薬品リストを配布しております。医薬品リストとは、協会けんぽ本部より提供される調剤レセプトデータをもとに集計し、先発医薬品とジェネリック医薬品を紐付し、医薬品ごとの使用割合を表示したものです。
- リストは使用数量が多い順にジェネリック医薬品を掲載し、また、患者の人数ベースによる割合も載せており、「この医薬品は何割の人がジェネリック医薬品を使っている」という参考資料として活用いただくために配布しております。

(例) 先発品「アムロジンOD錠 5mg」（高血圧症や狭心症の治療に使用）

薬効分類3桁	薬効分類4桁	薬効2桁 名称	薬効3桁 名称	薬効4桁 名称	剤形区分	一般名処方標準的な記載	単位	先発/後発	医薬品コード	薬価基準コード	商品名 (※先発品を先頭、先発品に続く後発品を使用数量が多い順に表示)	メーカー名	使用数量計 (先発+後発)	後発品使用割合 (数量ベース)	後発品使用割合 (人数ベース)	
71	217	2171	循環器官用薬	血管拡張剤	冠血管拡張剤	内服	【錠】アムロジンOD錠内服錠5mg	錠	先発	620003887	2171022F4028	アムロジンOD錠5mg	大日本住友製薬	159,223	94.6%	94.1%
									後発	620007818	2171022F4036	アムロジンOD錠5mg「トーフ」	兼和薬品			
									後発	621937401	2171022F4087	アムロジンOD錠5mg「NS」	日新(山形)			
									後発	621959501	2171022F4176	アムロジンOD錠5mg「サワイ」	沢井製薬			
									後発	621932001	2171022F4230	アムロジンOD錠5mg「明治」	Meiji/Seikaファルマ			
									後発	621985601	2171022F4265	アムロジンOD錠5mg「KN」	小林化工			
									後発	621951301	2171022F4079	アムロジンOD錠5mg「NP」	ニプロ			
									後発	621954703	2171022F4338	アムロジンOD錠5mg「香林」	キョーリンメディオ			
									後発	621959401	2171022F4133	アムロジンOD錠5mg「あすか」	あすか製薬			
									後発	621934502	2171022F4311	アムロジンOD錠5mg「テバ」	武田テバファーマ			
									後発	621959801	2171022F4214	アムロジンOD錠5mg「日医工」	日医工			
									後発	621973101	2171022F4257	アムロジンOD錠5mg「EMEG」	エルメッドエーザイ			
									後発	621941201	2171022F4117	アムロジンOD錠5mg「YD」	陽進堂			
									後発	621959601	2171022F4184	アムロジンOD錠5mg「サント」	サント			
									後発	621931401	2171022F4095	アムロジンOD錠5mg「TOK」	ニプロジェネファ			
									後発	621939801	2171022F4052	アムロジンOD錠5mg「JG」	日本ジェネリック			
									後発	621841701	2171022F4168	アムロジンOD錠5mg「ケミア」	日本薬工			
									後発	621957401	2171022F4150	アムロジンOD錠5mg「有研」	大興製薬			
									後発	622018501	2171022F4273	アムロジンOD錠5mg「CH」	長生堂			
									後発	621949201	2171022F4141	アムロジンOD錠5mg「アメル」	共和薬工			
									後発	621952705	2171022F4290	アムロジンOD錠5mg「TVK」	武田テバ薬品			
									後発	622360801	2171022F4320	アムロジンOD錠5mg「イセイ」	コーアイセイ			
									後発	621956901	2171022F4222	アムロジンOD錠5mg「フノー」	シオクカミカル			
									後発	621959701	2171022F4125	アムロジンOD錠5mg「ZE」	全発薬品工業			

宮崎支部の取り組み

● 宮崎県ジェネリック医薬品安全使用促進協議会への参画

- 宮崎県ジェネリック医薬品安全使用促進協議会の委員として協議会に出席し、協会けんぽにおけるジェネリック医薬品の使用状況及び使用促進に向けた取り組み等を説明し意見発信を行うとともに、宮崎支部のジェネリック医薬品の使用状況に関する統計情報を提供。
- 随時、協議会事務局である宮崎県福祉保健部医療薬務課と、ジェネリック医薬品軽減額通知サービス等の事業実施状況、宮崎支部のジェネリック医薬品に関する統計情報の提供等、情報発信や意見交換を行い、宮崎県との関係強化に取り組む。

● その他の取り組み

- (毎月) 新規に適用を受けた事業所へパンフレット・ジェネリックシール送付。
- (広報) 広報誌(協会けんぽ宮崎、社会保険みやざき)、メルマガ、ホームページへの掲載。